

高退協ニュース

高知高退協事務局
2010. 9. 1
No.166

2010年
9月1日

高知県高等学校退職教職員協議会
〒780-0850 高知市丸の内2丁目1-10
TEL 088-1822-1682
088-1822-1682
0165012111893

二〇一〇年度夏季学習会、戦争を考え、チベット問題を学ぶ

講師に松本さん、渡辺さんを学ぶ

二〇一〇年度夏季学習会は八月二十七日(金)、高知城ホールにて、昨年より六名多い五十名の出席で開催されました。最初に三谷会長が、講師の紹介を兼ねて挨拶しました。

最初の講座は、女性を中心に県内で活躍している「高知ミモザの会」の会長をされている松本瑛子さんの「戦地からの土佐への手紙」に学ぶ」と題しての講演でした。

講演では、ソレでスタートした「高知の女性の生活史」の編集後、「戦地からの手紙」を持っていく人に出会い、高知の昭和史を発掘しよう、ということになり、出版することになった経過が話されました。手紙が語ることで、一番多かったのは「子ども」のことであったこと。それは戦地へ出てから、子どもが生まれているケースが多かったことを意味すると述べていました。その他、妻へのラブレター、生活の心配、ふるさとへの想い、戦場の様子などが語られていた、と幾つか例をあげて紹介してくれました。

そして、出版された本は、各団体など行商して廻り、一ヶ月で二千五百冊を完売したとのことでした。去る八月三日のNHKの「クローズアップ現代」の取材では、一時間二十分ぐらい取材されたが、放映されたのは数分だった、とのことでした。

続いての講座は、渡辺怜子さんの「チベットにおけるダライ・ラマ」と題しての講演でした。

山の会等で、世界各地を旅することの多い渡辺さんは、以前から、ブラッド・ピットの主演映画他様々な事柄を通して、「チベット」には深い関心を持っておられたと話

ておられました。そして昨年五月、高退協の仲間を含む十数人で、チベットに旅した経験を語られました。

チベットに行く前に、現地ではダライ・ラマの話はしないほうが良いと言われた事や、現地で、グループのメンバーの写真を撮っていたら、突然抗議行動を受けたことなども話されました。中国の力によるチベット侵略で印度に亡命せざるを得なかった若きダマイ・ラマの生い立ちに始まり、大國中国の圧制に苦しむチベットの人々の宗教の自由、思想の自由、生活の自由について等、さまざまな問題点を話されるとともに、美しいチベットの風景、寺院、宮殿など、DVDで、上映されました(操作は山本圭一さん)。三谷会長は、「チベットに行きたくなった」と後の挨拶で感想を述べていました。戦後六十五年目に当たる今年の夏季学習会は、戦争について考え、チベット問題を学んだ学習会になりました。また、夜の懇親会にも、昨年よりも六名多い三十一名が参加し、講師を囲んで和やかに懇談しました。(土居)

飲水思源

プロクルステスの寝台

横田 慧

みなさんは、マルクスが「私はマルクス主義者ではない」と言ったと聞くと驚かれますか？彼がそれを言ったのは6歳のときでした。フランスのマルクスびいきの連中が事実を調べもせずに、マルクスの原理・方法を振り回すのを見かねて、「それがマルクス主義者なら私はマルクス主義者ではない」と言ったのです。

マルクスが『資本論』で、自分を「あの偉大な思想家の弟子」と書いたその「師匠」であるヘーゲルは、物事には必ずそうあらしめる根拠があって、まず根拠を尋ね当てることこそ大事だが、根拠付けられるものは、さまざま条件によつてそうあるのだから、その具体的条件の研究も根拠の探求に劣らず重要であると説きました。そうして人知というものは、その循環を重ねて進歩するものだと。マルクスはそれを真つ直ぐ受け継ぎました。私に言わせれば、どんなときにも科学的態度を堅持する研究姿勢です。

80年アメリカ発の恐慌も、単に契機となった金融の墮落によるだけではなく、その根拠として資本主義的生産と貧困な大衆の消費力との矛盾が横たわっているという事実を挙げなければなりません。

平和運動に生涯を捧げられた、故梅原憲作さんの口癖は「なににしても『プロクルステスの寝台』はいかん」でした。それは、理論に合わせて事実を切り捨てるなどという、ご自分の長い経験からの教訓でした。「プロクルステスの寝台」と聞くとき、私の学生時代に、文庫本で読んだエンゲルスの一通の手紙を思い出します。それは「唯物論は、歴史研究の際に、史実を具合良く裁断するための、できあいの型紙として取り扱われると、その反対物(非科学)に転化する」というものです。また、別の手紙では、「唯物史観もまた、歴史を研究しない口実に役立っているような味方をたくさんもっている」と嘆いています。晩年になつてのエンゲルスの手紙では、自分たちは社会現象の基礎にある経済的諸事実からみちびきだすことに重点をおかざるをえなかった。だから、諸観念の成立の仕方などについて十分に強調しなかつたと反省しています。だからといっていま、根拠となるものを学ばなくてもよいとするなら、具体的条件を調べない人と同じく、非科学への転落以外のなものでもありません。私は、「唯物論」を、自然に限らず人間、社会も「科学する」態度と考えています。「科学する」とは、教条を拒み、独断に流れず、常に創造の心をもち、「開かれた考え」を操とすることです。

2010 高校・障害児学校教育研究会

日時 10月30日(土) 13:00~
場所 高知市勤労者交流会館(高知市丸池町:知寄町2丁目電停北)
内容 全体会・課題別分科会
分科会テーマ ①「高校生の生活・学び」・②「学力保障・進路指導」
③「学校づくり・条件整備」・④「障害児教育」
学校統廃合・学科再編の動きの中で、高校・障害児学校教育の課題を追求していきます。現職と一緒に、今の学校現場の様子を探ってみませんか。

ご案内



新加入

川村かつ枝(日高養)さん
東から西から



入会挨拶 川村かつ枝
高退協の皆様こんにちは。時期はずれの入会ですがよろしくお願ひします。

私は今をときめく坂本竜馬と現在進行形。「・・・しゅう」のある土佐弁にあこがれて高知に来ました。大学は戸崎先生や竹内先生に学び、森尚水さんや今は亡き谷岡さんらと全障研サークルを作って発達保障理論を学びました。それからとはかく無我夢中で走ってきたように思います。学生時代の同期は全員県外へと抜けていき、ひとり異郷の地に残った私は、全障研高知支部と高教組の仲間がいたからやりたいたことを思う存分やって、たいして道を踏み外すことなく退職の日を迎えられたと心より感謝しています。

これからは、さおり織りとケーナ(南音楽の楽器)の日々を過(そう)と思っています。

十月からはケーナの発祥の地ポリビアへの旅を夢見て英会話教室にも通うつもりです。自作の衣装でケーナの演奏を楽しむという最高の人生を送りたいと思っています。

もちろんそのためには平和な社会あつてのこと、そのための努力もしたいと思っています。いろいろ、教えてください。人とのつながりを大切にマイペースでこれからの人生を送りたいです。よろしくお願ひします。

会費納入のお願い

2010年度分会費納入がまだの方はお早めにお願ひします。

わたしの健康法

田所 邦子

早朝庭に出て、さわやかな空気を胸いっぱい吸い込み、畑のスイカの雌花が咲いていたら受粉を助けてみたりします。垣根近くのブラックベリーが葉の陰で黒紫色に熟しているのを見つけると嬉しくなります。また、夕暮れにレモン色のユウスゲの可憐な花の開きははじめを見つめていたり、戸外には密かに心ときめくことがたくさんあります。私の健康のもとと恵まれた自然の中での「ささやかな感動」なのかもしれません。

初月農園だより(虫)

島本 聡

無農薬有機栽培を目指して、野菜を育てはじめて最も苦勞するのは、雑草の除去と、病害虫への対策である。今回は我が農園に飛来する虫たちを私なりの理解のしかたで紙面の許す限り述べてみる。

青虫

キャベツを植えると、どこで察知するのかモンシロチョウが飛来する。昆虫網で追つても、一時間もすれば数十頭がひらひらと舞い戻る。キャベツの葉が巻き始めると葉のうえに黒い糞をまき散らしながら、葉の柔らかい部分から黙々とたべはじめるのである。虫との共生を考えそのままにしておけば、容赦もなく食べつくされ残るのは葉脈ばかりになる。木酢液からしとニンニクを漬けた元氣丸と称するものをかけても、彼らの食欲はいつこうに減らない。やむを得ない捕獲するしかない。200株ぐらいのキャベツでも、青虫は毎日手のひらに盛り上げる程になる。これを土佐ジロウにあげると、大騒ぎで食して

とながら、穴数の少ない竹でつくられた7穴のケーナの方に、それに加えて、60歳を過ぎてはじめての笛があります。呼吸法と指の運動、楽譜を覚えることなどボケ予防に最適だと思っています。土でできた13穴のオカリナもさることに、目下夢中になっています。ケーナは音域が広く、変化に富んだ音色が出て、演奏曲にも軽快なテンポの祭りの曲の多いことなど、興味深い楽器です。

笛には、手の10本の指すべてが大切で、特に薬指が自

あぶらむし

5月になると、ナスの苗の定植だ。今年は千両、龍馬、サラダ茄子、長茄子と欲張る、枝分かれし1番花がつくころ、蟻たちが忙しそうにかけまわりだす。そう元気に育っていた葉につやがなくなってくる。その葉の裏見ればびっしりとあぶらむしがはりついている。葉や茎の維管束に針を刺し、師管液を吸っているのだ。1匹のあぶらむしは、虫眼鏡がひつような程の小さな移動もままならぬ弱々しい虫だが、その繁殖力は爆発的で、これにとりつかれた木は、枯れてゆくまで汁をすわれるのである。蟻はあぶらむしのお尻からでる甘露を舐めるためにせつせと世話をし、外敵の攻撃からアブラムシをまもっているのだ。あぶらむしにとりつかれた葉を取り除いてゆくと、残るのは1葉もなくなつてゆく。あぶらむしは、栄養状態のよい春は、単為発生をし、秋は有性生

分の意志通り動きづらいで、訓練を必要とします。今では、乞われれば老人ホームや地元の敬老会などで、オカリナ教室の仲間たちと訪問して演奏を聴いてもらい、元氣をもらっています。また、森の中や海辺で音を出すと、鳥や昆虫などが反応してくれますし、場所によっては笛の音が自分の身体に反響してくるよう、気分爽快になります。

音楽は周囲を和ませるだけでなく、自分の癒しと活力になつていきます。毎日、身近な自然に触れ、好きな音楽を奏でる、これが私の健康法です。

殖により卵をうみ越冬するやつかいな虫。牛乳やデンブンのりを散布するもたいした効果なし、のこるはブラシでこすり落とす戦術のみ。天敵の七つ星テントウムシ虫さん、たくさん来させてくださいませ。



夜盗

土佐神社のお祭り、しなねさまがくると、白菜、大根、ニンニク、プロッコリなどの秋冬やさいの、種のまき時である。だが、近年温暖化のせい、9月に入ってからでない、蒔いてはだめで、8月にまいた種は2葉のときに既に食されてしまい全滅である。菜園をやりだしてから10余年になるが、やつと気温と種まき時期の大切さが身にしみるようになってきた。私のような手抜を美徳する者には、秋冬野菜は、できるだけ遅く蒔き、寒が来る前に成長させておくこと。そのためには早生の種子を選ぶことだ。それでも昨年は白菜が芯食い虫と称する蛾の幼虫に食われて収穫は3割程度であった。

俳句

六月十九日 土曜
高知城周辺

合田青幹

旧名は北門筋や梅雨に入る
端居せる廻り廊下の五六人

吉本伸秋

十葉や男は苦み走るもの

梅雨茸や四百年の城の垣

中内英明

香の籠る泰山木の曲り角

蟻もまた居場所のなくて雨の縁

中内みち代

追憶の梧桐青葉寅彦居

飛石や緑雨美し庭の木々

七月一七日 土曜

中土佐町・久礼八幡宮

合田青幹

句座涼し百疊敷の大広間

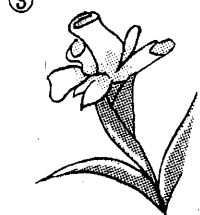
又の名を鏗の町と親しまる

小笠原さちを

夏潮や裕介像は画布膝に

梅雨明けか空は真青に双名島

川柳



溪流の抄③

小澤 幸泉

カクテルへ女の嘘が

この町に住んで悲しみ

のびのびになった返事を

妻の愛なんて言葉じゃ

一握の土地にいのちを

軽すぎる柩を担ぐ

悪政を突き刺すような

晴れやかに主のよみがえり

七十歳水割りの底

葉指の爪だけ赤く

染めてみる



短歌

日本の未来 山本晶子

選挙終り各党の議席分析し政治
の行く末われは危ぶむ

政治不安・国内生産空洞化 梅
雨空のような日本の未来

新聞を長く読みたり日本のこ
れからしきりに案ぜらるれば

千葉へ転居 榊原忠彦

けやき・たぶ大樹の多き森林公
園緑真近しわたしの住まひ

已むを得ず千葉に移りて一月
余夢で語らふ土佐の誰れ彼れ

たくさん蔵書をあとに離り
来ぬ果てなき欲は抑へるべきや

感謝 榊原忠彦先生

四十九年前 田圃の中のひばり
が丘 隣家に若き榊原一家

万葉から寅彦・虎彦「海風」ま
で教はりしこと数限りなく

悠然と千葉へ発たれしきみしき
と深き感謝と祈る思ひと

機関誌『こうたいきょう』第31号原稿募集

◎今回は、近況報告を全員参加を目指して
充実させます。1行でも良いので送って
ください。(返信用はがきが全員に
入っています)

1. 小特集「読書会20周年」を募集。
2. 30号の特集「地域で輝く」の続編も募集
3. 従来原稿も大歓迎です。
○自由論文 ○随筆 ○研究論文
○主張 ○詩 ○俳句・短歌・川柳
など何でも結構です。(2000字以内で)
4. 紀行文
5. 夏期学習会
6. 追悼文
7. その他(ご相談下さい)

◎原稿締め切り日 11月10日

◎送付先 高知市丸ノ内2-1-10

高教組気付 高退協 宛

映画 いのちの山河、日本の青空IIを観て

橋元 陽一

佐川町では、さる六月二十七日
午後後に上映が行われた。高
退協、県退協のなかまが運営
を担っている医療生協佐川支
部で上映に取り組まれた。当
日は土砂降りとなり、来場者
の減少が危ぶまれたが、三回
の上映で三二〇名を超えた。

生命尊重のためにこそ経済開
発も社会開発も必要なんだと
いう政治原則を再確認すべき
である」として沢地村地域包
括医療実施計画の目的と目標
を掲げた。それには、

【目的】

1 幸福追求の原動力である
健康を人生のあらゆる時点
で理想的に養護する

2 生存地域社会環境(自然
的環境・社会的環境)の健
全性の開発向上を期する

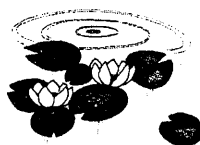
【目標】

- ①すこやかに生まれる
 - ②すこやかに育つ
 - ③すこやかに老いる
- これらの目標を実現するため
には、

誰でも(どんな貧乏人でも)
いつでも(二四時間三六五日
生涯にわたって)、学術の進歩
に即応する最新・最高の包括
医療サービスと、文化的な健
康生活の保障を享受すること
が必要である。

と謳われている。

いのちと平和を守るために、
憲法を生かし、今の国や自治
体のあり方を糺す感動的な映
画だった。



三十五 思い出 其の六
奈良 新薬師寺
松山 和雄

うつそうとした春日の森の砂利道を南に歩くと、やがて明るく開けた高畑の大通りに抜け出る。通りを渡ると破れた築地塀に挟まれた細い道に変わる。塀の表面には漆喰がわずかに残り、おおかたは下塗りの赤土があらわらわらわらしている。そんな荒れた表面に釘でえぐったのだらうか、ところかまわず落書きが見られる。東京オリンピックを機に、都市には近代的なビルが次々と建てられ、日本が急速に「豊か」になっていった頃のこと。一方で、荒れたままの社寺は珍しいことではなかった。あの法隆寺でさえ、いくつかの別院では失われた門扉の代わりに丸竹を挿しかけただけにしているのを見かけた時代のことだから。

そんな痛ましい光景を目にしたがら道を二度三度折れ曲がると新薬師寺の南門に着く。門前にはのどかな、昭和の田園風景が広がり、やや離れた向いの集落との合間には、まるでジグソー・パズルの切れ

去坂の難

八月七日のことである。好天に恵まれ、恒例の早朝の散歩に出かけた。行き先は旧鏡村方面である。川口の浴場前に駐車、山頂の去坂の部落へ。道路は整備され朝日に輝く山々は秀麗で、彼方には名峰雪光山が聳えていた。この集落からは三本の下り道が整備されている。今回は畑川へ下るコースを選択した。特にこの車道はよく整備されている。「鏡のような路面」の連続でこれほど思う所はひとところもなかった。全山杉林に蔽われ前日の雨で全線しっとり濡れていた。その上アスファルトにはひとところも切れ目はない。一里近い道

目のようにあぜ道がめぐらされてる。今夜はこの寺の宿坊にお世話になる。経費を切り詰めた学生的身にはありがたい。寺の女性に案内され本堂脇の建物に向かう。途中、二坪ほどの小さな草木が茂ったところで足をとめ「あと、ひと月ほどもすれば萩の花がきれいに咲きますよ」と話しかけてくれた。しかし、残念ながら当時の私は花にはほとんど興味はなく、萩がどんな木でどんな花を咲かせるかまったく関心を持たなかった。

その小さな紫の花が奈良の寺々でよく見られ、軒の深いお堂とわびた表情の仏像、そして何より落ち着いた町の雰囲気によく似合っていることに気づいたのはそれからずっと後年のことだった。

あぶら蟬にかわってツクツクボーシや虫の音が聞こえはじめると、ふと月明かりに照らされた新薬師の秋の庭に立つてみたくなる。宿坊がなくなった今となっては叶わないことだろうけれど。

次回予定 初瀬路 長谷寺



春泉寺残月日記
坪井 幹之

は舗装上「完全無欠」であった。滑つたらたいへんな打撃を受けそうであったので慎重な上に慎重に足を運んだ。しかし、運命の一步か、ある曲がり足を取られた。見事な転倒を喫した。オリンピックなら最高点ものである。一瞬気を失っていたが、帽子がないのに気がついた。バックして拾い上げた。後頭部が腫れ上がっていた。不思議なこと以外の所に異常を感じなかった。やがて畑川で本道に合

先日の夏期学習会の懇親会にて、田所金久さんよ

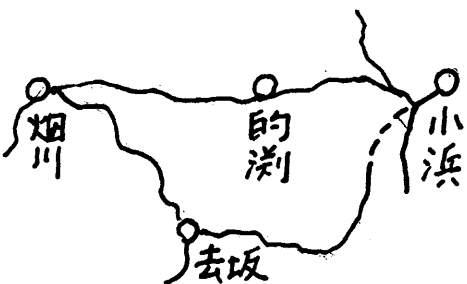
親会にて、田所金久さんよ。野菜や花を育てている人が集まっていた懇談会をしてはどうかという話がありさっそく。下記のように懇談会を設定してみました。日頃プランターや、畑で菜園を楽しんでいらつしやる方々に来ていただきたいと思ひます。今秋から菜園を

9月14日 (火曜) 午後2時
場所 セルフイーユ
ホームセンター
ブリコ吉田店西側
旧(喫茶かぼちゃの家)
駐車場あり
088-822-3081

特攻を語る 三谷隆彦

戦争を語り継ぐつどいが八月十五日高知女子大学で開かれました。約百四十人集まり、その一割が高退協会員でした。まず高知センター合唱団が力強い平和の歌を合唱しました。続いて大西正祐氏の「六十五年目の夏高知の特攻を語る」と題する記念講演がありました。同氏のお話によれば、日本で最初の特攻も最後の特攻も高知県出身者でした。さらに著書『二人の特攻隊員』によれば高知県から五十二名の若き命が戦場に散っています。市町村別に氏名が明らかになっていきます。その中には、私の郷里である大豊村からも一名います。お墓や遺族を訪ねれば、戦争を語り継ぐことが出来るそうです。

流。やや手間取ったので急ぐ。身体には異常感なしに、車に辿りつく。自宅に帰りついてから痛みが始まる。



- 主な活動と参加
- 七月
 - 六日 第三回高退協事務局会議
 - 高退協ニュース七月号発送
 - 九日 県高退連幹事会
 - 十一日 (参議院議員選挙開投票)
 - 十三日 県革新懇代表世話人会
 - 十四日 後期高齢者医療制度即時廃止を求める実行委員会
 - 十四日 高校障害児学校教育研究会
 - 十四日 第一回推進実行委員会
 - 二十日 第27回平和美術展、25日
 - 二十九日 革新懇運動をすすめる
 - 全県学習交流集会
 - 三十日 『人権教育』講演会
 - 三十日 高齢者医療制度学習会
 - 三十日 8・15戦争を語りつく実行委員会
 - 三十一日 高校教研集会第二回
 - 推進実行委員会
 - 八月
 - 二日 原水爆禁止世界大会、6日
 - 三日 高退協第四回事務局会議
 - 十日 県革新懇代表世話人会
 - 十三日 県高退連幹事会
 - 十三日 第十八回後期高齢者医療制度即時廃止を求める
 - 夕暮れ集会
 - 十五日 八・一五戦争を語り継ぐ
 - つどい講演平和のうた
 - 二十七日 高退協ニュース九月
 - 号原稿締め切り
 - 二十七日 高退協夏季学習会・
 - 懇親会
 - 二十八日 第五十六回日本母親
 - 大会 (二十九日)
 - 二十九日 掩体コンサート
 - 三十日 高退協ニュース九月号
 - 編集委員会
 - 三十一日 間吉夫(抱心)傘寿・書
 - 業三十年記念展、九月五日
 - 三十一日 高退協第五回事務局
 - 会議 (ニュース九月号発送)